

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 570105	高齢者教室開催事業				主管課名	生涯学習課											
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	鈴木正憲											
		施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち																
		基本事業	生涯学習講座の充実																
	(1)事業の概要																		
	高齢者を対象に、家族や地域社会の中で積極的に生きがいを見出し仲間とともに健康で豊かな生活を送っていくための学習の場を提供する。 寿大学 いきいき健康体操教室 いきいき講座						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) …数値は(9)												
							名 称		単 位										
							講座数		講座										
							講座受講者数		人										
							その指標												
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)																			
講座内容企画		講師依頼		広報		募集受付		抽選		受講受講者決定		受講料納入		講座開講準備		講座受付		講	
座運営		調査分析(アンケート)		反省。															
24年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容		官学連携による講座を取り入れた内容で寿大学を企画する。													
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) …数値は(9)													
60才以上の市民 未参加者						名 称		単 位											
						60才以上の市民		人											
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) …数値は(9)													
生活に充実感を味わい健康維持に努める。 講座の存在を知り、参加する。						名 称		単 位											
						参加者数		人											
						講座に初めて参加した人数		人											
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) …数値は(9)													
学習意欲を持ち講座に参加してもらう。						名 称		単 位											
						生涯学習講座受講者		人											
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																			
指標 \ 年度		単 位		22年度実績値		23年度実績値		24年度計画値		25年度目標値		26年度目標値		27年度目標値					
(5)の活動指標		講座		9		9		9		9		9		9					
		人		359		333		350		350		350		350					
(6)の対象指標		人		11,335		11,335		11,642		11,937		12,038		12,208					
(7)の成果指標		人		222		230		250		250		250		250					
		人				28		30		30		30		30					
(8)の結果の成果指標		人		7,018		6,260		6,875		6,875		6,875		6,875					
(10)予算費目		会計 01 一般会計								款 10		項 05		目 09					
(11)コスト		年度		22年度実績値		23年度実績値		24年度計画値		25年度目標値		26年度目標値		27年度目標値					
事業費(決算又は予算額)		単 位		569		358		523		523		523		523					
A 財源内訳	国庫支出金		千円		0		0		0		0		0		0				
	県支出金		千円		0		0		0		0		0		0				
	地方債		千円		0		0		0		0		0		0				
	その他		千円		353		264		295		295		295		295				
	一般財源		千円		216		94		228		228		228		228				
人件費B		千円		3,440		3,772		3,772		3,772		3,772		3,772					
正職員従事時間×人数		時間×人		180×5		243×4		243×4		243×4		243×4		243×4					
正職員以外の人件費		千円		120		120		120		120		120		120					
その他費用C		千円		0		0		0		0		0		0					
トータルコストA+B+C		千円		4,009		4,130		4,295		4,295		4,295		4,295					
単位あたりコスト		千円/ 人		0		0		0		0		0		0					
(トータルコスト/ (6)の対象指標)		千円/																	
		千円/																	

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 570105 高齢者教室開催事業		
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？	昭和48年	から
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？	高齢者に生涯を通じて学習してもらう (高齢者がいきいきと元気に暮らせるようにするため、余暇時間の充実)	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	変化していない	変化している 高年齢者の増加
		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？	
		・寿大学の参加者は、老人クラブ加入者を対象にしているが、広報を通じて一般募集もしてほしい。	

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治事務	→	根拠法令	なし	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく	→	理由	この事務を行う根拠又は理由	生涯学習推進基本計画に基づき実施する。
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容	拡大	
	できない	→	縮小			
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容	追加	
	できない	→	絞込み			
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	→	理由又は内容		
	多少影響がある					
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容		ニーズにあった講座を開催
できない						
(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業との再編の可能性	ある	内容	
ない						
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容			
ない						
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容			
ない						
(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容			
ない						
公平性	ある	→	現状で適正			
	ない					→
受益者がいない						

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	・ニーズにあった寿大学の企画と募集方法を検討する。 ・講座内容の充実に努める。					